

能動的教育手法への挑戦

—heuristic な学習経験のために

2012年7月18日(水) 13:30~17:00
東1号館3階 1304 教室 (一橋大学 国立・東キャンパス)

副学長挨拶 落合 一泰 副学長(教育・学生担当)
13:30~13:35

【第1部 プロジェクト型学習からキャリア支援へ】

第1講演 町村 敬志 氏(社会学研究科)
13:35~14:05 「社会科学における『資料の収集・保存・活用』教育の基盤研究と実践」

第2講演 後藤 昭 氏(法学研究科)
14:05~14:35 「法律相談によるライブクリニック型臨床法学教育の試行プロジェクト」

第3講演 二宮 祐 氏(大学教育研究開発センター)
14:35~15:05 「『一橋大学ラーニングデザイン委員会』による学習支援プロジェクト」

第4講演 五味 政信 氏(国際教育センター)
15:05~15:35 「留学生の就職支援」

【第2部 新たなメディアによる学習】

第5講演 伊藤 史人 氏(情報基盤センター)
15:45~16:15 「修学支援に関わる遠隔講義実施のための調査および実験」

第6講演 高見澤 秀幸 氏(情報化統括本部)
16:15~16:45 「学内映像配信システム(1284ch)^{ひとつはしチャンネル}を活用した留学生向けガイダンスチャンネルの作成」

質疑応答 司会 水岡 不二雄(経済学研究科)
16:45~17:00 武村 知子(言語社会研究科)
主催者挨拶 筒井 泉雄 大学教育研究開発センター長

趣旨:近年、プロジェクト型学習や新たな資料・メディアを介した学習など、教育方法の革新に取り組む授業実践が、本学でも増えています。そうした、学生自らに発見を促すような—heuristic な—教育手法が可能にする学習経験の意義を考えることが、今回のFDのねらいです。